

「セイコーマート滝川本町店」への歴史パネルの設置について

令和3年末に解体された「中川かなもの」跡地に、令和4年9月15日、「セイコーマート滝川本町店」が開店しました。この店舗内に、交通の要衝・商都として歴史を紡いできた滝川の移り変わりゆく街並みを振り返る巨大ヒストリーパネル（180cm×55cm、9枚）が設置されました。



セイコーマート滝川本町店

滝川の 商業の歴史と 街並みの 移り変わり

交通の要衝として発展してきた中空間の
中核都市・滝川。その歴史は地域を支え
る商業と深いかわりを持ちます。
商都として歴史を紡いできた滝川のあゆ
みと移り変わりゆく街並みを写真ととも
に振り返ります。



丸島中音楽隊 明治30年代に撮影によって撮影された写真。店頭中央の演奏でまちを盛り上げた。



山田呉服店 明治43年、丸島から中川大町が遷移となり、源川支店長・山田利二氏が店舗を譲り受け「山田呉服店」へと改称した。

大 正 期
困難を
乗り越え



国道38号 旧新線交差点付近（昭和30年代）



名店ビルのオープン（昭和33年）

歴史パネル（一部）